



ラーニングコモンズに行こうや。

学生のみなさん…
ラーニングコモンズをご存じですか？

学術情報センター長 生田 顕

ラーニングコモンズということばを聞いたことはありますか？ 1990年代からアメリカやヨーロッパの大学図書館で使われ始めたことばで、日本語では「共有の場」といった意味合いがあります。パソコンを自由に使えるスペースを設けたり、丸い形のテーブルやカフェなどを併設している場合もあります。図書館はそこで静かに調べ物をしたりするだけの場所ではなく、仲間とともにディスカッションをしたり、自分たちが情報を発信する場にもなるのです（亀井 肇：新語探検, JapanKnowledgeより）。

現在、日本中の大学図書館で、ラーニングコモンズの導入が推進されています。なぜ、このような動きが生じているのでしょうか。2つの理由が考えられます。1つは、インターネットにより簡単に情報が入手できるようになったことに関係しています。より深い知識や理解を得るためには、インターネットによる断片的な（デジタルな）情報を不規則な順に入手するだけでは不十分で、連続的な（アナログな）情報を多くの書物により段階的に得ることにより、理解度を自然な形態で深めることが可能になります。ラーニングコモンズは、このようなマルチメソッズによる効果的な学習を可能にする場であることをまず挙げることができます。2つめの理由として、仲間と議論することにより斬新なアイデアが生まれることです。企業では、グループによるディスカッションは普通に行われていることですが、これを様々な資料が容易に入手できる大学図書館において実施することにより、より効率的に新発想に繋げることができます。これこそ、まさに知の創造ですね。

ところで、県立広島大学の広島キャンパス図書館にも

ラーニングコモンズがあることをご存じですか。3階の一面に写真のようなオシャレな部屋が24年度に開設されました。この部屋には、人数によって組み合わせ可能なキャスター付き勾玉形のテーブルがあり、グループ学習に最適です。また、ノートパソコンやプロジェクターを借りることができ、プレゼンテーションの練習もできます。もちろん、無線LANの利用ができますので、インターネットを活用し、様々な情報を収集することができます。長時間の学習における体調管理のため、この部屋ではフタ付き飲料水の持ち込みがオーケーです。ただし、くれぐれも大切な蔵書やパソコンを濡らさないように注意してください。



本学の学生や教職員であればだれでも自由に利用することができますが、メールによる事前予約ができますので、確実に利用したい場合も安心です。また、25年度から上級生による学習支援を試行します。レポートの書き方や大学における勉強の方法がわからないときは、ベテラン(?)の先輩に相談するのが一番です。

学生の要望が大きく利用者が多ければ、庄原キャンパスと三原キャンパスの図書館にも、それぞれのキャンパスに適した同様の施設をつくることを計画しています。ぜひ何度も利用して、図書館を今よりもっと身近な場所に感じてください。

学術情報センター情報部門

情報セキュリティについて

PC遠隔操作事件の衝撃

情報セキュリティに関心のある者に注目されている話題として、「PC遠隔操作事件」が最近のニュース等で報道されています。2012年の夏から秋にかけてインターネット上の掲示板に、襲撃を行うといった犯行予告が書き込まれました。書き込みの犯人として複数の方が逮捕されたのですが、実は真犯人は別において、真犯人がそのパソコンの持ち主も気が付かないうちにパソコンを遠隔操作して書き込みを行っていたという事件です。巻き添えで逮捕された方の中には、かなりコンピュータに詳しい方もいましたが、パソコンが遠隔操作されることを防ぐことはできませんでした。今回の事件で使われた手法の中には新種の（世の中に知られていない）ウイルスにあたるものがあり、これはウイルス対策ソフトがパソコンに導入されていても、検知できる可能性が低いものでした。

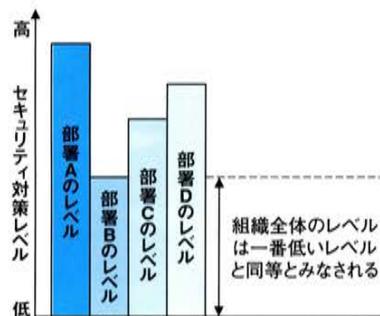
最近では、この事件に見られるように、未知のウイルスやソフトウェアの不具合を利用する攻撃（ゼロデイ攻撃と呼ばれます）が増えています。この他にも防御しにくい攻撃手法として、標的型攻撃といった手法があります。これは、特定の組織や人物の背景情報を調べたうえで、正規のメールと誤認させた巧妙なメールを送り付けるなどといった攻撃手法です。ターゲットとなったユーザは業務上の正しいメールと思い込んで添付ファイルを実行してしまうため、これまた既存の対策では防ぎきれない場合が多くあります。私自身が新種ウイルスや標的型攻撃のターゲットにされてしまったら、防ぎきる自信はありません。攻撃を受けた被害者が、他の人に攻撃・感染を広げて今度は加害者となるという面もあってさらに大変です。

組織における対策の考え方

残念ながら情報セキュリティの世界には特定の何かの対策をすれば、完全に安全ということはありません。防御側が対策を行えば、それを破るために攻撃側も新たな攻撃方法を考え出す、その繰り返しです。それでは対策を行うことは無意味なことなのでしょうか。いえ、そんなことはありません。

ある程度のレベルの対策を行えば、何も対策をしていないよりはずっと攻撃が難しくなります。その対

策を乗り越えることができる攻撃者は少なくなりますし、攻撃者も苦勞して対策レベルの高い組織を狙わずに、対策レベルの低い組織を狙います。被害にあう可能性は格段に小さくなります。組織的な対策を行う際の重要な点のひとつに、一番弱い場所がその組織全体のセキュリティレベルを決めるという考え方があります。組織内の大部分のパソコンが対策済でも、一か所でもきちんと対策をしていないパソコンがあると、組織全体の防御レベルはこの一番対策レベルの低いパソコンと同等とみなされます。逆に言えば、組織全体でもれなく対策を行うことが組織全体の対策レベルを向上させることにつながります。



図：組織における対策レベルの考え方

対策レベル向上のために

大学・企業を含めて組織が運用するネットワークでは、組織的に安全を守るような仕組みが導入されています。本学においても、大学のネットワークの出入り口における不正な通信やウイルスの監視と防御、各パソコンの状態をチェックする検疫システムといった仕組みが導入されています。また、USBメモリ経由の感染など、これ以外の感染経路にも対応するため、各パソコンにもウイルス対策ソフトの組み込みも義務化されています。

これに加えて、利用者側でも、常にウイルス対策ソフトやOSを最新の状態にしておく、メールの添付ファイルの実行には注意する、素性の怪しいWebサイトへのアクセスは避ける、素性の怪しい記録媒体（USBメモリなど）の再生は避ける、といった対策を行っていく必要があります。同等の対応は自宅で利用しているパソコンにも実施するとよいでしょう。

高度な攻撃には防御しきれない部分もあるかもしれませんが、ひとつひとつの対策をしっかりと行っていけば、セキュリティの確保された安全な環境としていくことができます。利用者ひとりひとりの注意の積み重ねが組織全体のネットワークを安全に維持することにつながるのです。

（経営情報学科 准教授 佐々木 宣介）

学術情報センター図書館部門

3キャンパス合同学生選書ツアー

夏休み初めの8月9日、3キャンパス合同の学生選書ツアーを、広島市内の大型書店で実施しました。参加者は、広島8名、庄原5名、三原10名で、約2時間、図書館に備えてほしい図書を選んでもらいました。参加者はお目当ての本を求めて広い店内のあちこちを探索、たくさんの本との出会いがあり、約500冊の本が選ばれました。

選書終了後には、交流会を開催し、自己紹介、選書ツアーの感想、図書館への思いなどを話してもらいました。アンケート結果では、大半が、また参加したいとの感想でした。

選書購入した図書は、各キャンパスの図書館で展示を行いました。身近な人たちが選んだ図書であるため、足を止めて見る人も多く、参加者が作成したポップも好評です。また、図書館ホームページには、今回の選書図書リストをキャンパス別に分けて掲載しています。他キャンパスの図書も取寄せて利用することができますので、見てみてくださいね。次の選書ツアーにはあなたも参加してみませんか？



ベストリーダー（学生貸出ランキング）

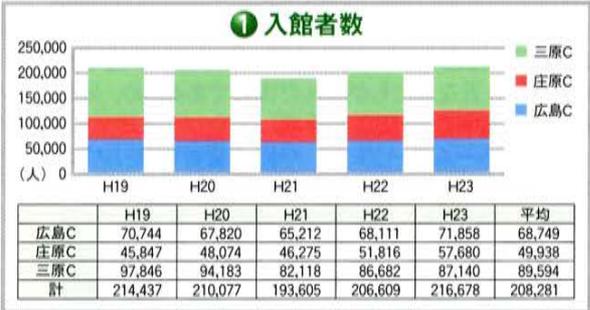
この1年間に貸出の多かった図書のランキングです。各キャンパスの学部学科に応じた特色が出ています。学生の皆さんはこんな本を読んで勉強しているんですね。これ

からの利用の参考にしてください。

人気の本は貸出中のことも多いですね。そんな場合は予約をすることもできます。どんどん本を借りて、図書館を活用してください。

	順位	貸出数	書名	著者名
広島	1	16	錯覚の心理学(講談社現代新書;1233)	椎名健著
	2	13	知識創造の経営:日本企業のエビステモロジー	野中郁次郎著
	2	13	一問一答一般常識「頻出」1500問<[12年度版]>	角倉裕之著
	4	12	行動分析学入門:ヒトの行動の思いがけない理由(集英社新書;0307E)	杉山尚子著
	4	12	県庁おもてなし課	有川浩著
	4	12	人を動かす<:新装版>	D・カーネギー著;山口博訳
	7	11	好きと嫌いの心理学(講談社現代新書;609)	詫摩武俊著
	8	10	狭衣物語<1>(新編日本古典文学全集;29)	小町谷照彦,後藤祥子校注・訳
	8	10	狭衣物語<2>(新編日本古典文学全集;30)	小町谷照彦,後藤祥子校注・訳
	8	10	うまくやるための強化の原理:飼いネコから配偶者まで	カレン・ブライア著;河嶋孝,杉山尚子訳
庄原	1	23	電気泳動なるほどQ&A:今さら聞けない基礎知識+原理を学んでトラブル解決!	大藤道衛編集
	2	18	キャンベル生物学	Neil A.Campbell,JaneB. Reece[著];池内昌彦[ほか]訳
	2	18	DNA実験の基本をマスターする[改訂第3版](無敵のバイオテクニカルシリーズ)	田村隆明編
	4	17	微生物培養工学(微生物学基礎講座;7)	田口久治,永井史郎編
	5	15	遺伝子工学概論(バイオテクノロジー教科書シリーズ;2)	魚住武司著
	6	14	PCR実験ノート[改訂第2版](無敵のバイオテクニカルシリーズ;22)	谷口武利編集
	7	13	核酸の電気泳動法:基礎と実験	寺田弘編
	8	12	応用微生物学[改訂版]	村尾澤夫,荒井基夫共編
	8	12	これからはじめる人のためのバイオ実験基本ガイド	武村政春編著;杉村和,園田雅俊,村雲芳樹著
	10	11	電気泳動なるほどQ&A:そこが知りたい![改訂版]	大藤道衛編集
三原	1	21	基礎運動学[第6版第4刷(補訂)]	中村隆一,齋藤宏,長崎浩著
	2	20	脳性まひ児の家庭療育[第3版]	NancieR.Finnie編著
	3	17	発達段階からみた小児看護過程+病態関連図	石黒彩子,浅野みどり編集
	4	16	臨床助産師必携:生命と文化をふまえた支援[第2版]	我部山キヨ子編集
	4	16	グラフィック認知心理学(Graphic text book)	森敏昭,井上毅,松井孝雄共著
	4	16	臨床動作分析(Standard text book)	高橋正明編集;関屋昇[ほか]執筆
	4	16	ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図	佐正勝,石村由利子編
	8	15	国際生活機能分類:国際障害分類改定版	世界保健機関[編];障害者福祉研究会編集
	8	15	筋電図の読み方	木下真男,高宮清之共著
	8	15	周産期ケアマニュアル:写真とCDでわかる	立岡弓子監修

図書館統計



編集発行

県立広島大学学術情報センター
〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号
電話(082)251-5179

各キャンパス問合せ先

県立広島大学庄原学術情報センター
〒727-0023 広島県庄原市七塚町562番地
電話(0824)74-1702

県立広島大学三原学術情報センター
〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号
電話(0848)60-1130